

# 男子ホッケー ワールドリーグ セミファイナル

日付	2013年7月6日 15:00~16:45		
場所	マレーシア・ジョホールバル	天候	晴れ
試合	第5戦:5-8位順位決定戦	通算結果	日本 1勝1分3敗

## Match Report

Country

**日本**  
**JAPAN**

Full Time	<b>2</b>	-	<b>2</b>
Half Time	<b>1</b>	-	<b>0</b>
Shoot-Out	<b>1</b>	-	<b>0</b>

Country

**南アフリカ**  
**SOUTH AFRICA**

Minute	Shrit#	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	高瀬克也(GK)			
	7	大野一平			
	6	粥川幸司(C)			
✓	4	小野知則			
✓	6	河内伸仁			
	7	森嶋彬(GK)			
✓	8	塩川直人			
✓	10	中山康大			
✓	11	川上啓			
	5	藤本一平			
✓	14	長澤克好			
✓	15	山下学			
✓	16	畠山学			
	10	井島光希			
	6	川上良平			
✓	29	山部晃嗣			
	6	吉原平太			
✓	32	橘敏郎			
監督		KANG KEONWOOK			
UMPIRE		BARBAS DIEGO(ARG)			

Minute	Shrit#	Name	GREEN	YELLOW	RED
	1	ROBINSON JONATHAN			
✓	2	PATON WADE			
	5	SMITH AUSTIN(C)			
✓	7	DRUMMOND TIMOTHY	36		
✓	9	HYKES JULIAN			
✓	10	NORRIS-JONES LLOYD			
	10	LOUW LANCE			
	10	GONSALVES NICHOLAS			
✓	14	HALKETT RHETT			
	8	HALEY CRAIG			
	10	DE VOUX JEAN PIERRE			
✓	21	EUSTICE JETHRO			
✓	23	PIETERSE ERASMUS(GK)			
✓	24	DA GRACA MIGUEL			
✓	26	PRETORIUS FRANCOIS			
✓	30	PATON TAINÉ			
✓	31	PANTHER CLINTON			
	32	JONES GOWAN(GK)			
監督		VAN STADEN MARTIN			
UMPIRE		KEARNS ADAM(AUS)			

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	33	畠山学	PC	1-0
RSA	56	HALEY CRAIG	PC	1-1

Team	Minute	Name	Action	Score
RSA	62	PATON WADE	PC	1-2
JPN	69		OG	2-2

## Shoot-Out Report

Shoot-Out	<b>1</b>	-	<b>0</b>
-----------	----------	---	----------

## Scoring

Shrit#	Attacker	GK#	Result
32	橘敏郎	23	×
29	山部晃嗣	23	×
4	小野知則	23	×
12	藤本一平	23	×
11	川上啓	23	○

Shrit#	Attacker	GK#	Result
13	GONSALVES NICHOLAS	1	×
10	NORRIS-JONES LLOYD	1	×
15	HALEY CRAIG	1	×
31	PANTHER CLINTON	1	×
14	HALKETT RHETT	1	×

## Defenders

Shrit#	Attacker
1	高瀬克也(GK)

Shrit#	Attacker
23	PIETERSE ERASMUS(GK)

ワールドリーグセミファイナル5-8位順位決定戦は南アフリカとの対戦である。大会ドクターが暑さを考慮し、15分遅れの15:00からの開始となった。(前半)試合は立ち上がりから両者様子を伺いながらゆっくりとしたペースで試合が続いていく。その中でもお互いに何度かチャンスを創り出すのが、得点には至らない。前半の終了残り5分を切ったところで、日本は果敢にサークルインを狙い、3度のPCを得ると、最後は畠山がGKの足元へのドラッグフリックシュートを決め、日本は前半を1-0のリードで折り返す。

(後半)後半に入っても前半の勢いそのまま攻め続ける日本は、後半開始直後に小野のドリブルでのサークルインからPCを取得するが、このPCの橘のドラッグフリックシュートはGKに阻まれ得点ならず。その後は徐々に南アフリカが試合のペースを握る。南アフリカは度々PCで得点チャンスを得るが、日本の固い守備で得点を与えない。しかしPCの守備で、長澤・畠山が相次いで負傷退場となり、日本にとって苦しい時間帯が続く。55分南アフリカはライトからドリブルでサークルインするとPCを取得。このPCのリバウンドを押し込み、南アフリカは同点に追い付く。勢いに乗った南アフリカは更に61分ライトのセンタリングからPCを取得すると、バリエーションからのドラッグフリックシュートを決め逆転する。その後日本は65分相手陣内でのリスタートから、中山・小野へとボールが渡りサークルインすると、小野はバックライン沿いのドリブルから最後は中央の藤本へのパスが渡り、藤本はワントラップからシュートを決め同点に追い付いたかと思われたが、ビデオ判定でGKへの反則によりノーゴールとされてしまう。残り3分のところで、日本はGK高瀬に代え畠山を投入するパワープレーを選択する。すると試合終了間際の69分、ライトのロングコーナーから畠山がダイレクトでサークルにボールを流すと、これがGKのオウンゴールを誘い、日本は土壇場で同点に追い付き、試合はシュートアウト戦へ。

(シュートアウト戦)後攻の日本は、GK高瀬が南アフリカの全てのシュートを防ぐスーパーセーブを見せると、5人目の川上啓へと繋ぐ。川上啓はシュートフェイントからゴールを決め、日本は劇的な勝利を飾った。

日本	9	シュート数	17	南アフリカ
	4	PC数	10	

次戦(第6戦:5位決定戦) 7月7日(日) 17:00 ~ 日本対マレーシ 記載責任者:男子コーチ 藤原 信幸  
校閲:男子強化部長 木原 征治